

群馬県の皆さんへ

これから夏休みに入ると、海に行く機会が増えるかもしれません。
下記に紹介する事例や事故を防ぐにはどうすればいいのかを確認してから海へ行き、安全にマリレジャーを楽しんでください！

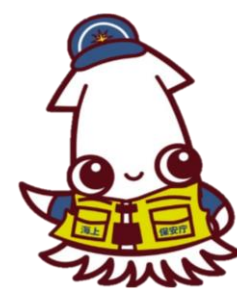
事故者（群馬県在住、小学生）は、夏休みに家族とともに新潟県の海水浴場を訪れた。
浮き輪をつけて妹と波打ち際で遊んでいたところ、妹と二人が波風により沖に流された。
流されたことに気付いた父親が救助に向かうも3名とも漂流状態になってしまった。
付近サーファー等により3名とも救助され、事故者と父親は緊急搬送された。

▲事故の原因▲

- ☑保護者の目が届かない場所で遊んでいた
- ☑救命胴衣を着用していなかった
- ☑フロート遊具が風の影響を受けやすいことを知らなかった



海での事故を防ぐためには



◎遊ぶ前に天気予報を
チェックし晴れた風の穏
やかな日に遊びましょう！

◎サイズの合った
救命胴衣を正しく
着用しましょう！

◎子供から絶対に
目を離さない様に
しましょう！

かんしん
◎監視員がいる海水
浴場で泳ぎましょう。

海の事件・事故は「118番」!!

きんきゅうつうほうようでんわばんごう

～118番は海上保安庁が運用する海の緊急通報用電話番号です～



皆さん、「海上保安庁」をご存じですか？

海上保安庁は海の警察、消防、救急として、昼夜を問わず日本全国
あるいは世界の海で皆さんの安全・安心を守っている組織です。

海上保安庁の仕事に興味があれば、見学等も受け付けていますので
東京海上保安部までお気軽にお問い合わせください。(Tel:03-5564-1118)



←「Water Safety Guide」

海で安全に遊ぶための
総合情報サイトです！要チェック！



←「Net118」

聴覚や発話に障
がいのある方が
利用できます。

事故発生状況は
次へ！





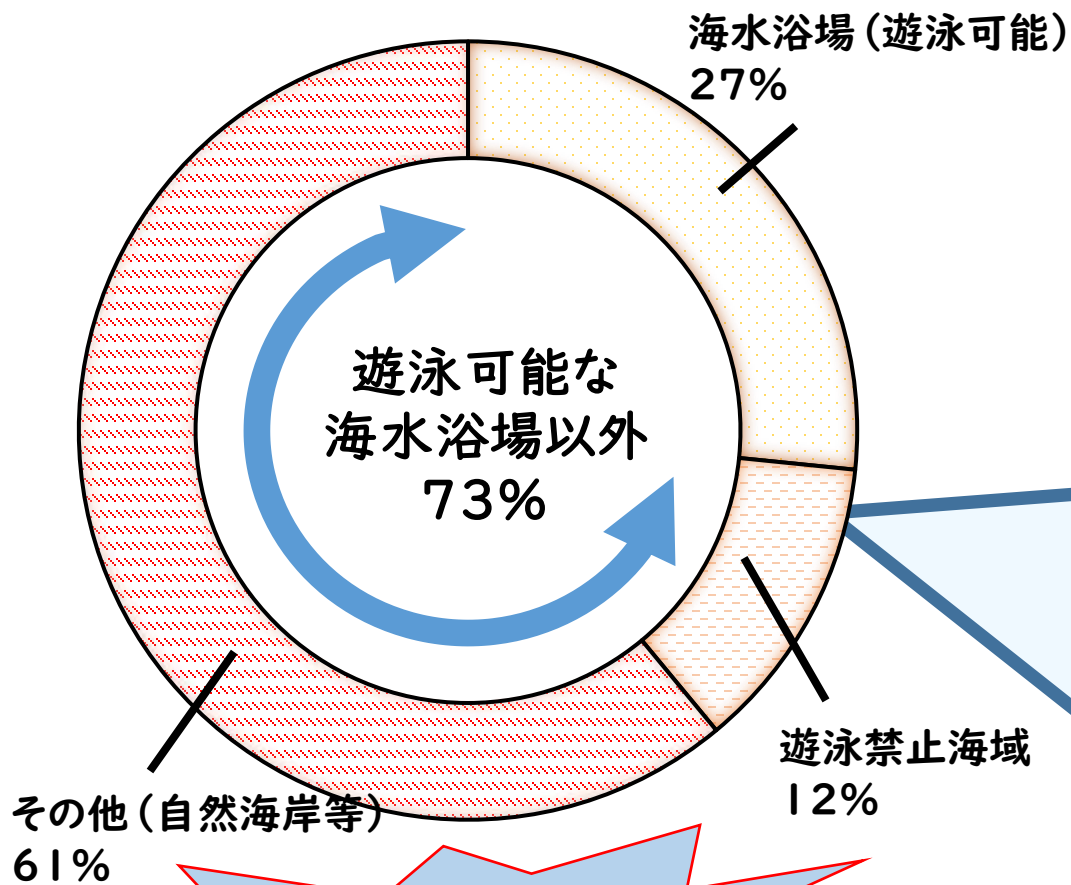
海の事故に注意



全国の海浜では、遊泳中の事故が多発しており、その多くは夏休み期間中に発生しています!!

過去5年間(2021年~2025年)における18歳以下の事故者は567名で、そのうち52名(9%)の方が亡くなっています。

遊泳場所別割合



海浜事故の73%は「海水浴場以外」で発生しています!

かんしいん
監視員がいる海水浴場で泳ぎましょう。

理由1) 海水浴場は、ライフセーバー等の監視が行き届いており、万が一の時の救助体制が整っています。そのため、早期に事故が発見され、迅速な救助が実施されます。

理由2) 海水浴場は、安全に遊泳することができる遊泳区域がブイで定められています。

波が高い日は、泳いではいけません。

高い波や強い風の影響で、溺れたり沖合いに流される危険性が高くなります。

離岸流に注意

○海水浴場や海岸付近では、岸から沖に向かう流れが発生することがあり、これを「**離岸流**」と呼んでいます。

★離岸流に遭った時には...

1. まずは、落ち着く(あわてない)
2. 岸に向かって泳がない
3. 海岸と平行に泳いで脱出する
4. 脱出したら海岸に向かって泳ぐ

